#### 日 本 国

15.10.03

JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類は下記の出願書類の謄本に相違ないことを証明する。 This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 Date of Application:

2002年10月16日

REC'D 2 1 NOV 2003

WIPO

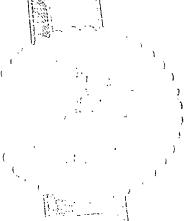
願 Application Number:

PCT/JP02/10744

出 Applicant (s):

本田技研工業株式会社 佐々木 健児 塚本 喜行 嶋 彰

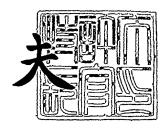
渡辺 和幸



SUBMITTED OR TRANSMITTED IN COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003 年 11 月 6 日

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office



## 

願

書

国際出願番	T/JP02/10744	
国際出願日	16.10.02	
(受付印) PCT	International Application 本 国 特 許 庁	

出願人は、この国際出願が特許協力条 約に従って処理されることを請求する。 出願人又は代理人の告類記号 HF-309-PCT (希望する場合、最大12字) 第 I 欄 発明の名称 工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法 この棚に記載した者は、発明者でもある。 氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 電話番号: 03-5412-1114 本田技研工業株式会社 HONDA GIKEN KOGYO KABUSHIKI KAISHA ファクシミリ番号: 03-5412-1524 〒107-8556 日本国東京都港区南青山二丁目1番1号 加入溉信番号: 1-1, Minami-Aoyama 2-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8556 JAPAN 出願人登録番号: 住所(国名): 日本国 JAPAN 国籍(国名): 日本国 JAPAN この欄に配載した者は、次の すべての指定国 ✔ 米国を除くすべての指定国 米国のみ 追記欄に記載した指定国 指定国についての出願人である: 第Ⅲ欄 その他の出願人又は発明者 この棚に記載した者は 氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は鄭便番号及び国名も記載) 次に該当する: 佐々木 健児 SASAKI Kenji 出願人のみである。 〒107-8556 日本国東京都港区南青山二丁目1番1号 ✔ 出願人及び発明者である。 本田技研工業株式会社内 発明者のみである。 「ここに*レ印を付したときは、* 以下に記入しないこと) c/o HONDA GIKEN KOGYO KABUSHIKI KAISHA, 1-1, Minami-Aoyama 2-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8556 JAPAN 出願人登録番号: 住所 (国名): 日本国 JAPAN 国籍(国名): 日本国 JAPAN この欄に記載した者は、次の すべての指定国 米国を除くすべての指定国 ✔ 米国のみ 追配棚に記載した指定国 指定国についての出願人である: ✔ その他の出願人又は発明者が続葉に記載されている。 第IV欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名 ✔ 代理人 次に記載された者は、国際機関において出願人のために行動する: 井河の代表者 電話番号: 氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は鄭便番号及び国名も記載) 03-5956-7220 8197 吉田 豊 YOSHIDA Yutaka ファクシミリ番号: 03-5956-7222 〒170-0013 日本国東京都豊島区東池袋一丁目20番2号 加入電信番号: 池袋ホワイトハウスビル816号 816, Ikebukuro White House Building, 20-2, 代理人登録番号: Higashi Ikebukuro 1-chome, Toshima-ku, Tokyo 170-0013 JAPAN **- 阿知のためのあて名: 代理人又は共通の代表者が退任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。** 

様式PCT/RO/101 (第1用紙) (2001年3月版)

工欄の続き その他の出風 又は発明者					
	は、この用紙を顧客に含めないこと。				
比名 (名称) 及びあて名:(姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記	載;あて名は郵便番号及び国名も記載)	この欄に記載した者は 次に該当する:			
塚本 喜行 TSUKAMOTO Yoshiyuki		出願人のみである。			
〒107-8556 日本国東京都港区南青山二丁目1番 本田技研工業株式会社内	1号	出願人及び発明者である。			
c/o HONDA GIKEN KOGYO KABUSHIKI KAISHA,  1-1, Minami-Aoyama 2-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8556 JAPAN					
1-1, Miliami-Adyama 2-Chome, Miliato-ku, Tokyo	107-8556 JAPAN	出願人登録番号:			
国籍(国名):日本国 JAPAN	住所 (国名): 日本国 JAPAN				
□ 指定圏についての出版人である: □□	■を除くすべての指定国    ・米国のみ	追記欄に配載した指定国			
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記	載;あて名は郵便番号及び国名も記載)	この欄に配載した者は 次に該当する:			
嶋 彰 SHIMA Akira		出願人のみである。			
〒107-8556 日本国東京都港区南青山二丁目1番 本田技研工業株式会社内	1号 · ·	出願人及び発明者である。			
c/o HONDA GIKEN KOGYO KABUSHIKI KAISHA		発明者のみである。 (ここにレ印を付したときは、 以下に記入しないこと)			
1-1, Minami-Aoyama 2-chome, Minato-ku, Tokyo	107-8556 JAPAN	出願人登錄番号:			
	<u> </u>				
国籍 (国名): 日本国	住所 (国名): 日本国 JAPAN				
この欄に配轍した者は、次の   すべての指定国   米国	記を除くすべての指定国 ✓ 米国のみ	追記欄に記載した指定国			
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記	歳;あて名は郵便番号及び国名も記載)	この欄に記載した者は 次に該当する:			
渡辺 和幸 WATANABE Kazuyuki		出願人のみである。			
〒107-8556 日本国東京都港区南青山二丁目1番1号 本田技研工業株式会社内					
c/o HONDA GIKEN KOGYO KABUSHIKI KAISHA,  1-1, Minami-Aoyama 2-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8556 JAPAN					
,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,,		出願人登録番号:			
国籍 (国名): 日本国 JAPAN	住所(国名): 日本国 JAPAN	<u> </u>			
この概に記載した者は、次の 指定国についての出願人である: すべての指定国 米国	を除くすべての指定国     米国のみ	追記欄に記載した指定国			
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記	哉;あて名は郵便番号及び国名も記載)	この欄に記載した者は 次に該当する:			
		出願人のみである。			
		出願人及び発明者である。			
		一 発明者のみである。 (ここに <i>レ印を付したときは、</i> 以下に記入しないこと)			
	·	出願人登録番号:			
国琦 (国名):	住所(固名):				
この棚に記載した者は、次の 指定国についての出願人である: すべての指定国 米国	を除くすべての指定国 米国のみ	追記欄に記載した指定国			
一一ての他の出願人又は発明者が他の統葉に記載されている。					

7欄 国の指定

広域特		の保護又は取扱をいずれかの指定国(又は OAPI)で求め	る場合には追記欄に記載する。
		ーナGhana, GMガンピアGambia, KEケ=	
	MWマラウイ Malawi M スモ	デンビーク Mozambique, SDスーダン Sudan,	Kenya, LSVY Lesotho,
	コ ム ヘソンプント Swaziland, T	ンタンサニア United Republic of Tanzonia TI	C ウザンダ Ilgordo ク N グザングア Jombio
	と W シンハノエ Limbabwe, 及びア	<b>ヽフレプロトコルと特許協力条約の締約国である仏</b>	の国(外の顔精の足跡でけ取り扱いるみみを担人
	TOTAL TOTAL SOUND STREET		
☑ E A		アメニア Armenia. A Z アセルバイシャン Azorb	naijon B V ベラルーシ Ralama
	A G イルキスタン Lyrgyzstan, K	、乙カザフスタン Kazakhstan. MTD モルドヴァ	Republic of Moldows PIIII VT Procion
	rederation, I J グシキスタン Ta	jikistan, TMトルクメニスタンTurkmenistan,	及びユーラシア特許条約と特許協力条約の
	柿利国である他の国		
E P	コーロッハ特許:ATオー	ストリア Austria, BEベルギーBelgium, B	Gブルガリア Bulgaria, CH and L I
	ツ Germany D ビデンシュタイン Switz	zerland and Liechtenstein, CY+7ux Cyp	rus, CZfz=Czech Republic, DEFA
	フランス France C P 英国 United	mark, EE=x,h=r,Estonia, ESx </td <td>ンSpain, FIフィンランドFinland, FR</td>	ンSpain, FIフィンランドFinland, FR
	ルクセンプルグ Lavembourg NAC	l Kingdom, GRギリシャ Greece, IEアイル モナコ Monaco, NLオランダ Netherlands,	レランド Ireland, I Tイタリア Italy, LU
	Sweden. SKスロヴァキア Slovel	ia, TRトルコ Turkey, 及びヨーロッパ特許条	P 1 ホルトカル Portugal, S E スワェーテン
Ø0A	OAP I 特許: BFブルキ	ナ・ファソ Burkina Faso, B Jベナン Benin,	がら特許協力条約の締約国である他の国 C E 中央アフリカ Control African Donablic
	CGコンゴ Congo, C Iコートジ	ボアール Côte d'Ivoire, CMカメルーン Camero	on G A ガボン Gobon G N ギーア Guinage
	G Q 亦道キニア Equatorial Guinea	,GWギニア・ビサオ Guinea-Bissau,M T 🤜	7   Mali MR +-     A = 7 Manritonia N
	ヒニンエール Niger, S N セネガル	VSenegal、TDチャドChad、TGトーゴ Two	m 及びアフリカ知的所有機機構のメンバー関で
	あり特許協力条約の締約国である他の	国(他の種類の保護又は取り扱いを求める場合に	は点線上に記載する)
国内特	許(他の種類の保護又は取り扱いを求	ない は は は が は か は か は か は か は か は か は か は か	
	アラブ首長国連邦	図GEグルジア Georgia	図N Zニュー・ジーランド New Zealand
	United Arab Emirates	☑ G Hガーナ Ghana	
	アンティグア・バーブーダ	図 G Mガンビア Gambia	☑ OMオマーン Oman
	Antigua and Barbuda	回日 R クロアチア Croatia	☑ P Hフィリピン Philippines
	アルバニア Albania	回日 C P C P P P C P P P P P P P P P P P P	
P A M	アルメニア Armenia	図 I Dインドネシア Indonesia	☑ P Lポーランド Poland
	オーストリア Austria		☑ P Tポルトガル Portugal
	ナーストラリア Australia	図 I LイスラエルIsrael	図ROルーマニア Romania
	アゼルバイジャン Azerbaijan	☑ I NインドIndia	図R Uロシア Russian Federation
		回 I Sアイスランド Iceland	
[2] TO A +	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosnia	図 J P 日本 Japan	図 S Dスーダン Sudan
		回 K Eケニア Kenya	図 S E スウェーデン Sweden
	rzegovina ベルベドス Barbados	☑ K Gキルギスタン Kyrgyzstan	図 S G シンガポール Singapore
	プルガリア Bulgaria	☑ K P北朝鮮	☑ S I スロヴェニア Slovenia
	ブラジル Brazil	Democratic People's Republic of Korea	☑ S Kスロヴァキア Slovakia
	7 7 7 Drazii	区KR韓国Republic of Korea	図 S L シエラ・レオネ Sierra Leone
	ベラルーシ Belarus	☑ K Zカザフスタン Kazakhstan	図 T J タジキスタン Tajikistan
	ベリーズ Belize	☑ L Cセント・ルシア Saint Lucia	☑ T Mトルクメニスタン Turkmenistan
	ウナダ Canada	☑ L Kスリ・ランカ Sri Lanka	
	indL I スイス及びリヒテンシュタイン	☑ LRリベリア Liberia	☑ T Nテュニジア Tunisia
	erland and Liechtenstein	☑ L S レソト Lesotho	図 T R ドルコ Turkey
	中国 China	☑ L Tリトアニア Lithuania	② T Tトリニダッド・トバゴ
	コロンピア Colombia	図 L Uルクセンブルグ Luxembourg	Trinidad and Tobago
E C R	コスタリカ Costa Rica	☑ L Vラトヴィア Latvia	四 T Z タンザニア
	ユーハ* Cuba	☑MAモロッコ Morocco	United Republic of Tanzania
E C Z f	±== Czech Republic	☑MDモルドヴァ Republic of Moldova	図 U A ウクライナ Ukraine
ODE)	ドイツ Germany	***************************************	図UGウガンダUganda
D D K	デンマーク Denmark	☑MGマダガスカルMadagascar	☑ U S 米国 United States of America
	ミニカ Dominica	☑MKマケドニア旧ユーゴスラヴィア	TOTAL TOTAL CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE
e de la companya de l	プルジェリア Algeria	共和国 The former Yugoslav Republic of	図 U Z ウズベキスタン Uzbekistan
ME C=	ニクアドル Equador	Macedonia	図 V Nベトナム Viet Nam
ØEE=	ニストニア Estonia	☑MNモンゴル Mongolia	② Y Uユーゴスラヴィア Yugoslavia
ØE S >	ペペイン Spain	☑MWマラウイ Malawi	☑ 乙 A南アフリカ共和国 South Africa
ØF I7	アインランド Finland	☑M X メキシコ Mexico	
図 G B st	国 United Kingdom	☑M Z モザンビーク Mozambique	☑ Z Mザンピア Zambia
図GDク	レナダ Grenada	☑ N O ノルウェーNorway	☑ Z Wジンバプエ Zimbabwe
		の締約国となった国を指定するためのものである。	
o VC 보기	ノトビンセント及びグレナビン諸島	_	
			<u> </u>
音定の確認の 5除く旨の妻	<b>宜富: 出願人は、上記の指定に加えて、規則</b> 示をした関け、指定から除かれる。出願し	14.9(b)の規定に基づき、特許協力条約の下で認められる作	也の全ての国の指定を行う。但し、追記欄にこの宣言か

指定の確認の宣言:出願人は、上記の指定に加えて、規則 4.9(b)の規定に基づき、特許協力条約の下で認められる他の全ての国の指定を行う。但し、追記欄にこの宣言から除く旨の表示をした団は、指定から除かれる。出願人は、これらの追加される指定が確認を条件としていること、並びに優先日から 1 5 月が経過する前にその確認がなされない指定は、この期間の経過時に、出願人によって取り下げられたものとみなされることを宣言する。(指定の確認は、指定を特定する通知の提出と指定手数料及び確認手数料の納付からなる。この確認は、優先日から 1 5 月以内に受理官庁へ提出しなければならない。)

Λ.	п
***************************************	

7個 優先権	主張			
不の先の出願に基づ	く優先権を主張する:			
先の出願日	先の出願番号		先の出願	
(日. 月. 年)		国内出願: パリ条約同盟国名又は WTO 加盟国名	広域出願:*広城官庁名	图際出顧:受理官庁名
(1)				
(2)				
(3)	·			
(4)	·			·
(5)			·	
他の優先権の主	・張(先の出願)が追記欄に	記載されている。		
	し、 <i>本国際出願の受理官庁に対し</i> 國特許庁の長官)に対して請求す		下のものについて、出願書類の	の認証勝本を作成し国際事務局へ送付する
すべて	優先権(1) 優先権(	(2)	6権(4)	その他は追記欄参照
		出願を行った工業所有権の保護のための		『易機闘の加盟国の少なくとも1ヶ国を
第VI標 国際觀				
国際調査機関 記載。)	(ISA) の選択(	2以上の国際調査機関が国際調査を	実施することが可能な場合	ないずれかを選択し二文字コードを
ISA/JP				
先の調査結果の		査の照会 (先の調査が、国際制 出度番号	関査機関によって既に実施 <i>国名(又は広</i> 崎 ・	
第2個間 申立て	2			
この出願は以下の申ュ	ケース できな。 <i>(下配の該当</i> )	する棚をチェックし、右にそれぞれ	の申立て数を記載)	申立て数
第V皿欄(i)	発明者の特定に関	日する申立て		:
第VII欄(ji)	出願し及び特許を出願人の資格に関	と与えられる国際出願日 関する申立て ,	における	:
第Ⅷ柳(ⅲ)	先の出願の優先村 出願人の資格に	量を主張する国際出願日 日する申立て	における	:
第四欄(5寸)	発明者である旨の(米国を指定国と		·	:
第四欄(*)	不利にならない関 て	<b>昇示又は新規性喪失の例</b>	外に関する申立	:

第1X欄 照合欄; 出願の書語
際出願の紙様式の枚数は次のとおりである。 じ式での枚数  この国際出願には、以下にチェックしたものが添付されている。  数
願寄(申立てを含む) 5 枚 1. 🗸 手数料計算用紙 : 1
明細書(配列表を除く) 16 枚 が 対付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面 : 1
請求の範囲
要約書
3.
4 包括委任状の写し(あれば包括委任状番号) :
明知書の配列表部分
(紙形式での出稿の場合はその枚数 コンピュータ読み取り可能な形式の有無を問わない。 下記(的参照) 優先機御類(上記第VI欄の( )の番号を配載する):
7.   国際出願の翻訳文 (翻訳に使用した音語名を記載する): : : :
合 計 40 枚 8. 新能した微生物又は他の生物材料に関する咨面 :
9・
(1) (国際出版の一部を構成しない) : ( 左欄(b)(i)又は(b)(ii)にレ印を付した場合のみ)
(ii)
配列表部分を含む媒体の種類 (フレキシプルテ゚ィスタ、CD- ROM、CD-R その他) と枚数 :
(追加的写しは右欄9. (道)に記載)
要約費とともに提示する図面: 第4図 本国際出願の言語: 日本語
第X欄 出願人、代理人又は共通の代表者の記名押印 を人の氏名 (名称) を記載し、その次に押即する。
EXCORD (FIRST CONTENT)
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
1. 国際出願として提出された沓類の実際の受理の日 16.10.02
3. 国際出願として提出された書類を補完する書面又は図面であって その後期間内に受理されたものの実際の受理の日(訂正日) 不足図面がある
4. 特許協力条約第11条 (2) に基づく必要な補完の期間内の受理の日
5. 出願人により特定された 国際調査機関 ISA/プラ 6. 調査手数料未払いにつき、国際調査機関に 調査用写しを送付していない。
国際事務局記入欄
記錄原本の受理の日:

| | 様式PCT/RO/101 (最終用紙) (2001年3月版)

#### 明細書

工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法

#### 技術分野

この発明は、新たに建設される、あるいは既存の工場の生産工程管理システムにおいて、その工程処理構成を構築および管理する方法に関する。

#### 背景技術

製造業にあっては生産の拡大に伴って次々と工場を建設することが多いが、そのような場合、従来は、建設された工場の生産工程に合わせて各工程で行う処理をその都度開発していたため、開発コストの重複を招いていた。既存の工場の生産工程管理システムを更新する場合も同様であった。

その点で、特開平9-267239号公報記載の技術は製品情報の管理に関する技術を開示し、製品と部品の製造に関する情報を総合的に無駄なく管理する技術を提案する。

しかしながら、この従来技術は製品を生産する工程を設計して作業標準を生成することを提案するに止まり、生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築および管理については何等示唆するものではなかった。

#### 発明の開示

従って、この発明の目的は上記した課題を解決し、新たに工場を建設する場合、あるいは既存の工場のシステムを更新する場合、開発コストの重複を招くことなく、効果的に工程処理構成を構築および管理するようにした工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法を提供することにある。

上記の目的を解決するために、この発明は後述する請求の範囲第1項に記載する如く、工場の生産ラインにおいて、製品の生産を指示すると共に、生産情報を管理する管理用コンピュータと、前記工場の生産ラインに配置される端末コンピュータを介して行われる、工場の生産工程管理システムにおける、工程処理構成

の構築・管理方法であって、a. 前記管理用コンピュータで、少なくとも前記工場を特定する名称、前記工場で生産される製品あるいは前記工場で行われる作業を特定する名称、前記製品あるいは作業が行われるラインの名称、前記ラインを細分してなる工程のそれぞれの名称からなる前記工場の構造を階層的に作成し、b. 前記管理用コンピュータに、前記端末コンピュータと前記生産ラインで前記生産あるいは作業に使用されるデバイスを端末装置として登録し、c. 前記管理用コンピュータに、予め作成されて前記管理用コンピュータのディスクに保管されているタスク群の中から前記工程のそれぞれで行われるべき作業あるいは処理を実現するための1つまたは複数個のタスクを前記工程のそれぞれごとに選択して実行すべき順に登録し、d. 前記管理用コンピュータに、前記登録された選択して実行すべき順に登録し、d. 前記管理用コンピュータに、前記登録された定義情報を登録し、およびe. 前記端末装置の端末コンピュータが起動されると、前記登録された定義情報に基づき、前記登録されたタスクを前記管理用コンピュータに実行させて前記製品の生産実績情報を収集させ、前記収集させた生産実績情報を駆集させ、前記収集させた生産実績情報を蓄積するステップからなる如く構成した。

請求の範囲第2項にあっては、前記ステップeが、f. 前記タスクの実行を管理する制御プログラムを起動して次に実行すべきタスクを、前記実行順に登録されたタスクの中から選択してコールさせるステップを備え、よって前記登録されたタスクを前記管理用コンピュータに実行させる如く構成した。

請求の範囲第 3 項にあっては、さらに、g. 前記管理用コンピュータに、前記登録された端末装置に対して前記生産実績情報に基づく生産指示情報を配信すべきときは配信先に応じて配信フォーマットを登録するステップを備えると共に、前記ステップ e は、前記登録された配信フォーマットに応じて前記配信先に前記生産指示情報を配信させる如く構成した。

請求の範囲第4項にあっては、さらに、h. 前記管理用コンピュータに、前記端末装置の利用に関するセキュリティ情報を登録するステップを備え、前記ステップeは、前記端末装置の端末コンピュータが起動されるとき、前記登録されたセキュリティ情報から許可されるユーザによって操作された場合に前記端末コンピュータの起動を許可する如く構成した。

#### 図面の簡単な説明

第1図は、この発明の一つの実施の形態に係る工程処理構成の構築・管理方法 が前提とする工場の生産工程管理システムを実現する装置の構成を示すブロック 図である。

第2図は、この実施の形態に係る工程処理構成の構築・管理方法の前段階の処理を示すフロー・チャートである。

第3図は、それに続く、この実施の形態に係る工程処理構成の構築・管理方法 の、準備段階(導入)から実行段階(稼働)までの処理を示すフロー・チャート である。

第4図は、第3図フロー・チャートの工場の構造の作成(コンフィギュレーションの実施)を詳細に示すサブルーチン・フロー・チャートである。

第5図は、第4図の工場の構造の作成を詳細に示すサブルーチン・フロー・チャートである。

第6図は、完成車(乗用車)を生産する場合を例にとって工場の構成を示す説明図である。

第7図は、第5図などに示すテーブルをリストして示す説明図である。

第8図は、第4図フロー・チャートの端末の定義を詳細に示すサブルーチン・フロー・チャートである。

第9図は、第4図フロー・チャートの処理の定義を詳細に示すサブルーチン・フロー・チャートである。

第10図は、第9図フロー・チャートで言及されるタスクリストテーブルの構成を示す説明図である。

第11図は、第9図フロー・チャートの工程の処理の登録を詳細に示す説明図である。

第12図は、第4図フロー・チャートの配信フォーマットの登録を詳細に示す サブルーチン・フロー・チャートである。

第13図は、第4図フロー・チャートのセキュリティ情報の登録を詳細に示す サブルーチン・フロー・チャートである。 第14図は、第3図フロー・チャートのプログラム実行を詳細に示すサブルーチン・フロー・チャートである。

第15図は、第14図フロー・チャートの端末起動を詳細に示すサブルーチン・フロー・チャートである。

第16図は、第14図フロー・チャートの処理の実行を詳細に示すサブルーチン・フロー・チャートである。

#### 発明を実施するための最良の形態

以下、添付図面に即してこの発明の一つの実施の形態に係る、工場の生産工程 管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法を説明する。

第1図は、その実施の形態に係る工程処理構成の構築・管理方法が前提とする 、工場の生産工程管理システムを実現する装置10の構成を示すブロック図であ る。

図示の如く、装置10は、工場あるいは本社の管理部門に配置される管理用コンピュータ12a, 12bを備える。管理用コンピュータ12a, 12bは画面(ディスプレイ)120a, 120bおよびキーボードからなる入力機器122a, 12bには、後述する処理で必要なデータをテーブル形式(データベース)として格納する記憶装置14aと、通信およびプリンタのプロトコルなどを格納する記憶装置14bと、ネットワーク切り換えコンピュータ16a, 16bが接続されてネットワーク化される。上記において符号aを付されたものが主系、符号bを付されたものが従系を意味する。

装置10は端末コンピュータ20を備える。端末コンピュータ20は、画面(ディスプレイ)20aとキーボードからなる入力装置20bを備えると共に、後述する工場の生産ラインのそれぞれの工程(例えば、エンジン識別番号の打刻、溶接など)に配置される。

端末コンピュータ 2 0 の付近には、プリンタ 2 2、エンジン識別番号の打刻、溶接などの所望の作業を行う作業ロボット (図示せず) などの作業機器の動作を制御する PLC (Programable Logic Controller) 2 4、 PLC と同様に作業機

器の動作を制御するコンピュータ(図示せず)、および電光掲示板(図示せず)などが、ネットワーク化されて配置される。

プリンタ22、PLC24、PLCと同様に作業機器の動作を制御するコンピュータ、および電光掲示板などをデバイスと総称する。デバイスと端末コンピュータ20とで端末装置26が構成される。

管理用コンピュータ12a, 12bと端末コンピュータ20のそれぞれとはイーサーネット30を介して接続され、ネットワーク化される。図示の装置10にあっては、端末コンピュータ20でクライアント側が構成されると共に、管理用コンピュータ12a, 12bなどでサーバ32が構成される。

サーバ32は監視用のコンピュータ34を備え、監視用コンピュータ34は装置10の動作を監視する。さらに、サーバ32は、ネットワークから独立して本社あるいは工場の管理部門に配置されたコンピュータ36に接続される。コンピュータ36は、後述するビジネスロジックタスク(作業あるいは処理の指示をプログラム化してなるもの)を種々生成し、生成したタスクを管理用コンピュータ12a,12bのディスクに保管する。サーバ32はネットワーク切り換えコンピュータ16a,16bによって主系および従系の管理用コンピュータ12a,12bのいずれかが動作させられる。

次いで、この実施の形態に係る、工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法を説明する。

第2図は、その工程処理構成の構築・管理方法の前段階の処理を示すフロー・チャートであり、第3図は、それに続く、工程処理構成の構築・管理方法の、準備段階(導入)から実行段階(稼働)までの処理を示すフロー・チャートである

尚、この明細書において、「工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法」とは、「工場の生産ラインにおける大まかな生産指示および生産実績の収集に関する工程処理構成を構築し、および管理する方法」を意味する。換言すれば、具体的な製品の生産自体は、別途決定される生産計画に基づいて下位の手順で実行される。

以下説明すると、第2図フロー・チャートのS10において、工場の生産ライ

ンにおいて、生産に必要な作業や処理を記述したビジネスロジックタスク(Business Logic Task)を開発し、ディスクに保管する。この開発は、装置10のコンピュータ36を用いて行われる。

このように、S10では導入先の工場の生産ラインで種々の製品を生産するときに必要となるであろう作業あるいは処理を可能な限り多数種類予測し、それらを最小単位に分類し、よって得た最小単位の作業あるいは処理をタスクとしてプログラム表現したものを開発する。

即ち、新たに建設されるべき工場あるいは生産工程管理システムが更新されるべき工場を特定することなく、どのような製品をどのように生産あるいは加工する工場がいずれの地域に建設されるとしても、生産ラインの工程処理に足りるであろう全ての作業および処理を最小単位に分類しつつプログラム化する。

尚、この実施の形態に係る工程処理構成の構築・管理方法においては、前記した従来技術で用いられるのと同様の、オブジェクト指向型のプログラムを用いる。「オブジェクト指向」とは、そこで定義されるように、人間が認識する現実世界をできるだけそれに近い形でソフトウエア上に再現することを目指す考え方をいう。また「オブジェクト」とは、データとデータの動作(オブジェクトの動作)を表すメソッドが一体化、即ち、カプセル化された処理単位を意味する。

ただし、前記した従来技術と異なり、この実施の形態においては、データはリレーショナル型(表形式)のテーブル(データベース)に書き込むと共に、メソッドをプログラム形式で記述し、管理用コンピュータ12a,12bのRAM上にオブジェクトとして構成するようにした。S10で開発されるタスク群は一群の作業あるいは処理であることから、メソッド(プログラム)として開発される

続いて、第3図フロー・チャートを参照して工程処理構成の構築・管理方法の、準備段階(導入)から実行段階(稼働)までの処理を説明する。尚、この時点では工場、生産ライン、製品などは特定されているものとする。また第3図フロー・チャートに示す処理は、装置10の管理用コンピュータ12a(あるいは12b)を用いて行われる。

以下説明すると、先ず、S100においてコンフィギュレーション(Conf

iguration)を実施する。コンフィギュレーションは工場の構造を意味し、その実施はその作成を意味する。このステップの処理は具体的には、導入先の工場の生産ラインに応じてそこで必要なものを定義する作業を意味する。

第4図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

まずS200において新たに建設される工場の構造を作る。

第5図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

まずS300においてサイト(Site)を登録し、S302に進んでプラント(P1ant)を登録し、S304に進んでディビジョン(Division)を登録する。

第6図は、完成車(乗用車)を生産して出荷するまでの工程を例にとって工場の構造を示す説明図である。同図を参照して説明すると、サイトは拠点名を意味し、具体的には工場が位置する地の名称(あるいは法人名)を意味する。プラントは、その工場で生産すべき製品名(即ち、何を生産する工場かの特定)、例でいえばフレーム(Frame。完成車(乗用車))、エンジン(Engine)(あるいは地名(その場合はサイトは法人名となる))を意味する。ディビジョン(部門)はその生産工程の大分類を意味し、プラントがフレームであれば、WE(溶接)、PA(化成)、AF(完成車組み立て)、VQ(完成車検査)などを意味する。

さらに、ディビジョンの下にはライン(Line、生産ライン)が設けられ、ラインの下にはPP(Process Point(プロセスポイント)。工程)が配置される。図示例でいえば、ディビジョン:PA(化成)の下にライン;PA-ON(化成投入)、ライン:Sealer(シーラ(塗布))、ライン:Top-Coat(表面塗装)、ライン:PBS(Painted Body Storage。塗装ずみの車台の自動倉庫)があり、ライン:Sealerの下には工程(PP):シーラ(塗布)が配置される。

上記を第5図を参照して再度説明すると、S300で工場が位置する地の名称などをサイトクラス(オブジェクトの定義情報)として、換言すれば地域の名称などをサイトクラスのオブジェクトとして記憶装置14aのサイトテーブルに登録し、S302に進み、S300で登録したサイトに対してフレームなどをプラ

ントクラスのオブジェクトとして必要数分(図示例ではフレームとエンジンの2つ)記憶装置14aのプラントテーブルに登録する。

次いでS304に進み、S302で登録したプラントに対してディビジョンとして必要数分(図示例ではフレームに対しては4つ、エンジンに対しては1つ)記憶装置14aのディビジョンテーブルに登録する。このように、工場の構造は、サイトからディビジョンまではツリー構造として階層的に登録される。

続いてS306に進み、S304で登録したディビジョンが複数階層あるか否か判断し、肯定されるときはS308に進み、S304で登録したディビジョンに対してフレームなどをディビジョンクラスのオブジェクトとして必要数分(図示例ではフレームに対しては4つ、エンジンに対しては1つ)同様に記憶装置14aのディビジョンテーブルに登録する。尚、S306で否定されるときはS308をスキップする。

次いでS310に進み、S304およびS308で登録したディビジョンに対してWE-ONなどをラインクラスのオブジェクトとして必要数分、図示例でディビジョン:PAについていえば4つ、記憶装置14aのラインテーブルに登録する。

次いでS312に進み、S310で登録されたラインに対してWE-ONなどを工程(PP)クラスのオブジェクトとして必要数分、図示例でLine(ライン):PA-ONについていえば1つ、記憶装置14aのプロセスポイントテーブルに登録する。

第7図は、これらテーブルをリストして示す説明図である。生産ラインの体系 を構成するテーブル群は、このように階層的に構成される。

第4図の説明に戻ると、次いでS202に進み、前記したディビジョンに対して端末装置26を定義する。端末装置26は前記したように、端末コンピュータ20とプリンタ22、PLC24などのデバイスを意味する。

第8図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

以下説明すると、S400において第5図のS304およびS308で登録したディビジョンのそれぞれに対して端末コンピュータ20を登録する。即ち、端末コンピュータ20は工程ごとに配置されるが、それらを例えばディビジョン:

WE用としてディビジョンごとに端末(ターミナル)クラスのオブジェクトとして記憶装置14aのターミナルテーブルにアドレスを付して登録する。

次いでS402に進み、同様に第5図のS304およびS308で登録したディビジョンのそれぞれに対してPLCなどのデバイスをディビジョンごとにデバイスクラスのオブジェクトとして記憶装置14aのデバイステーブルにアドレスを付して登録する。

第4図の説明に戻ると、次いでS204に進み、個々の端末コンピュータ20に対し、メニューとして工程処理を定義(登録)し、その工程処理を実現するため、工程処理に対して第2図のS10で開発したビジネスロジックタスク群の中から必要なタスクを決められた順番で定義(登録)する。

第9図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

以下説明すると、S500において第5図のS312で登録した工程のそれぞれに対し、そこで行われるべき処理を実現させるために、前記したビジネスロジックタスク群の中から1つあるいは複数個を適切な順序、より具体的には実行されるべき順序に従って選択し、記憶装置14aのタスクリストテーブルに登録する。

第10図はそのテーブルの構成を示す説明図である。工程 (PP) の識別子 I Dである PPn (第7図に示す) と、ビジネスロジックタスクの識別子 I Dである Application I Dは、同じ値を付すようにした。図で Seq. #が 実行順を示す。

第11図は第9図の処理によって得られるコンフィギュレーション情報を示し、それぞれの工程(PP)のビジネスロジックタスク(Business Logic Task)が図示のように複数のタスクを実行順にコンフィギュレーションすることによって実現される。例えば、第10図のPP10088は、「作業者が入力した車台番号をデータベースから検索し、組み立て流動順位を確認し、該当する車台の所在が組み立てラインであることを確認し、組み立て払い出し処理を行う」ことを意味する。

尚、第2図のS10で開発されてディスクに保管されているビジネスロジック タスクの中に所望のタスクが含まれていないときは、そのタスクを新たに開発( 補充)して管理用コンピュータ12a, 12bのディスクに保管しつつ、S204で定義(登録)することになる。しかしながら、その場合でも、不足分を補充すれば足ることから、零から作成する場合に比し、開発コストを低減できると共に、納期を短縮することができる。

第9図フロー・チャートの説明に戻ると、次いでS502に進み、端末コンピュータ20の画面のメニューの中、S500で述べた工程で行われるべき処理以外の画面処理についてビジネスロジックタスクに同様にApp1ication(アプリケーション)IDを設定し、画面とビジネスロジックタスクを結びつける定義情報を記憶装置14aのアプリケーションテーブルに登録する。

第4図の説明に戻ると、次いでS206に進み、S204で定義した工程処理のうち、配信先がある工程処理があるか否か判断し、肯定されるときはS208に進み、配信先を登録する。即ち、第5図のS312で登録した工程に対して第8図のS400,S402で登録した端末装置26(端末コンピュータ20およびデバイス(主としてプリンタ22やPLC24))の中から該当するものを配信先として必要数分だけ登録する。これは続いて述べる配信フォーマットを決定するのに必要なためである。

次いでS210に進み、その配信フォーマットを登録、より具体的にはその定義情報を登録する。

第12図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

以下説明すると、S600において第8図のS402で登録したデバイスの中から配信先として登録されたものの中、プリンタ22を除く、設備型のもの、具体的にはPLC24、コンピュータ(作業ロボットなどの作業機器の制御用)などに対して送信すべきデータの電文フォーマットを記憶装置14aのデバイスデータフォーマットテーブルに登録し、S602に進んでプリンタ22について同様の内容を記憶装置14aのプリントアトリビュートフォーマットテーブルに登録する。ここで、送信すべきデータの電文フォーマットは、例えば、データが車台番号、機種コード、外装色の順であってそれぞれ何桁づつ割り振られるべきかという書式上の指示を意味する。

第4図フロー・チャートの説明に戻ると、続いてS212に進み、プリンタを

除く端末装置26のそれぞれに、対応する処理を結び付ける。即ち、第8図のS400,S400で登録した端末コンピュータ20とデバイスのそれぞれと、第9図のS500,S500で登録した処理を結び付ける定義情報を記憶装置14aのアプリケーションバイターミナルテーブルに登録する。これは、具体的には、テーブル中の端末装置26にアプリケーションIDを付記することで行う。

次いでS214に進み、セキュリティ情報を登録する。即ち、端末コンピュータ20を使用するユーザ(操作者)の識別子であるユーザIDや、アクセスコントロールリスト(ACL)などを登録する。これは、簡単に言えば、誰が端末コンピュータ20を使用できるかを確定する作業である。

第13図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

以下説明すると、S700においてユーザ I D と付随する各種の情報を記憶装置 14aのユーザプロフィールテーブルとL D A P テーブルに登録し、S702に進み、S700で登録したユーザをグループ (例えば作業グループ) ごとに割り当てて記憶装置 14aのユーザセキュリティグループテーブルに登録し、S704に進み、端末コンピュータ 200でのそれぞれに対して使用することができるユーザとして S702で登録したグループを記憶装置 14aの前記したアクセスコントロールリスト (ACL) テーブルに登録する。

第3図フロー・チャートの説明に戻ると、以上でコンフィギュレーション実施が完了して準備段階が終了し、導入先工場向けの生産工程管理システムが完成する。

第3図フロー・チャートにおいては次いで実行段階を規定するS102に進み、プログラムを実行する。即ち、S100で完成された生産工程管理システムのプログラムを実行し、生産ラインの稼働を開始する。尚、この生産工程管理システムの目的はおおまかな生産指示と生産実績の収集にあり、具体的な生産自体は別のプログラムに従って行われることは先に述べた通りである。

第14図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

以下説明すると、S 8 0 0 において端末コンピュータ 2 0 を起動する。即ち、 生産ラインの工程のそれぞれに配置された端末コンピュータ 2 0 を起動し、処理 実行の準備を行う。 第15図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

以下説明すると、S900において端末コンピュータ20を起動する。これにより、端末コンピュータ20において端末側プログラムが起動される。

次いでS902に進んでユーザIDを入力すると、S904においてユーザIDの認証が行われる。即ち、端末側プログラムがサーバ32の管理用コンピュータ12a(あるいは12b)のサーバ側プログラムに起動された端末コンピュータ20のID(識別子)などの端末情報とユーザIDを送信し、サーバ側プログラムで受信データから記憶装置14aに格納されたLDAPテーブルを検索して確認することで行われ、使用可能なユーザであれば、認証される。

次いでS906に進んでユーザ認証に成功したか否か判断し、否定されるときはS902に戻ると共に、肯定されるときはS908に進み、コントローラ(Controller。制御プログラム)を起動する。即ち、サーバ32のプログラムは受信した端末情報に基づき、起動された端末コンピュータ20に相応するコントローラを起動する。具体的には、サーバ32のプログラムは、コントローラを管理用コンピュータ12a(12b)のRAM上に生成する。サーバ側プログラムは、同時に、第4図のS212で登録されたアプリケーションバイターミナルテーブルの中から当該端末コンピュータに結び付けられた処理についての情報を取得し、コントローラに伝達する。

次いでS910においてタスクリストが取得される。即ち、起動されたコントローラは、第9図のS500, S502で登録されたアプリケーションテーブルとタスクリストテーブルを検索し、該当する、即ち、起動された端末コンピュータに対応するタスクリストを取得し、次いでS912において起動された端末コンピュータ20の画面に表示する。これにより、端末コンピュータ20を起動したユーザは、作業内容を視認することができる。

第14図フロー・チャートの説明に戻ると、次いでS802に進み、処理を実行する。即ち、起動され、その画面にタスクリストが表示された端末コンピュータ20から各種の処理を実行する。

第16図はその処理を示すサブルーチン・フロー・チャートである。

以下説明すると、S1000においてユーザが処理用のデータ、例えば車台番

号を入力すると、S1002において端末プログラムがサーバ側プログラムにそれを送信し、S1004においてユーザIDと画面IDからその端末コンピュータ20が利用可能か否かのセキュリティチェックを行い、S1006において(許可されるとき)サーバ側プログラムが、当該端末コンピュータに対応するコントローラに入力データ(車台番号など)を伝達する。

次いでS1008においてコントローラが次のタスクをキックする。即ち、コントローラが、第9図のS500で適切な順序(具体的には実行順)で設定されてタスクリストテーブルに設定されたタスク群(あるいはS502で設定された工程の処理以外の画面処理についてタスク)の中から次のタスクを選択して起動し、S1010においてそのタスクが実行される。タスクは、第11図に示すように、AEOn(エンジン組み立てライン投入処理)などの生産作業の他、配信(Broadcast)やデータベースに格納されたデータの読み込みなども含む。

次いでS1012で一連のタスクが実行されたか否か判断する。一連のタスクとは第9図フロー・チャートのS500で規定される工程で行うべき処理を実現するための複数のタスク、即ち、1回分のトランザクションに相当する。このように、コントローラ(制御プログラム)を作成するとき、そこに具体的な処理を記述することなく、一連のタスク(トランザクション)がどこまで実行され、どれが残っているかを認識できるように記述すれば足るので、プログラムの作成、より広くいえば生産工程管理システムの作成が容易となる。

S1012で否定されるときはS1008に戻って上記の処理を繰り返すと共に、肯定されるときはS1014に進み、記憶装置14aのテーブルに書き込むべきタイミングか否か判断し、肯定されるときはS1016に進んで書き込む。尚、S1014で否定されるときはS1016をスキップする。

次いでS1018に進み、処理結果を当該端末コンピュータの画面に表示し、 S1020に進んで一単位の処理が完了したか否か判断し、否定されるときはS 1000に戻ると共に、肯定されるときは処理を終了する。

第14図フロー・チャートの説明に戻ると、次いで804に進み、全ての処理 が終了したか否か判断し、否定されるときはS802に戻ると共に、肯定される ときは処理を終了する。

この実施の形態は上記の如く、工場の生産ラインにおいて、製品の生産を指示 すると共に、生産情報を管理する管理用コンピュータ (サーバ) 1 2 a (12 b )と、前記工場の生産ライン(ライン、Line)に配置される端末コンピュー タ20を介して行われる、工場の生産工程管理システムにおける、工程処理構成 の構築・管理方法であって、a. 前記管理用コンピュータで、少なくとも前記工 場を特定する名称(拠点名Site)、前記工場で生産される製品(エンジン、 完成車)あるいは前記工場で行われる作業を特定する名称(プラントP1ant あるいはディビジョンDvision。より具体的にはその両方)、前記製品あ るいは作業が行われるラインの名称、前記ラインを細分してなる工程(プロセス ポイントProcess PointあるいはPP) のそれぞれの名称からなる 前記工場の構造を階層的に作成し(S100, S200, S300からS312 )、b. 前記管理用コンピュータに、前記端末コンピュータと前記生産ラインで 前記生産あるいは作業に使用されるデバイス(プリンタ22, PLC24, コン ピュータ、電光掲示板など)を端末装置26として登録し(S100, S202 , S400からS402)、 c. 前記管理用コンピュータに、予め作成されて前 記管理用コンピュータ12a(12b)のディスクに保管されているタスク(ビ ジネスロジックタスクBusiness Logic Task) 群の中から前 記工程のそれぞれで行われるべき作業あるいは処理を実現するための1つまたは 複数個のタスクを前記工程のそれぞれごとに選択して実行すべき順に登録し(S 1.0, S100, S204, S500からS502)、d. 前記管理用コンピュ ータに、前記登録された端末装置と、前記工程のそれぞれで行われるべき作業あ るいは処理を関連づける定義情報を登録し(S100, S212)、およびe. 前記端末装置の端末コンピュータが起動されると、前記登録された定義情報に基 づき、前記登録されたタスクを前記管理用コンピュータに実行させて前記製品の 生産実績情報を収集させ、前記収集させた生産実績情報を蓄積する(S102, S800からS804, S900からS912, S1000からS1020) ス テップからなる如く構成した。

このように、管理用コンピュータで、少なくとも工場のラインを細分してなる

工程のそれぞれの名称などからなる工場の構造を階層的に作成し、管理用コンピュータに、端末コンピュータと生産に使用されるデバイスを端末装置として登録し、予め作成されて管理用コンピュータのディスクに保管されているタスク群の中から工程のそれぞれで行われるべき作業あるいは処理を実現するためのタスクを工程ごとに選択して実行すべき順に登録すると共に、端末装置とそれを関連づける定義情報を登録し、端末コンピュータが起動されると、登録された定義情報に基づき、登録されたタスクを管理用コンピュータ(サーバ)上で実行させて生産実績情報を収集させて蓄積、具体的には、収集された実績情報に基づいて生産指示をデバイスに配信し、製品を生産させるようにした。これにより、工場建設に際しての生産工程管理システムの開発工数と費用を大幅に低減できると共に、納期も短縮することができる。

また、前記ステップ e が、f. 前記タスクの実行を管理する制御プログラム (コントローラC o n t r o 1 l e r )を起動して次に実行すべきタスクを、前記実行順に登録されたタスクの中から選択してコール (あるいはキックk i c k ) させる (S 9 0 8, S 1 0 0 8 からS 1 0 1 2) ステップを備え、よって前記登録されたタスクを前記管理用コンピュータに実行させる如く構成した。

このように、タスクの実行を管理する制御プログラムを起動して次に実行すべきタスクを実行順に登録されたタスクの中から選択してコールさせて実行させる如く構成したので、換言すれば、制御プログラムを作成するとき、そこに具体的な処理を記述することなく、一連のタスクがどこまで実行され、どれが残っているかを認識できるように記述すれば足るようにしたので、より汎用的な生産工程管理システムを実現することができる。

さらに、g. 前記管理用コンピュータに、前記登録された端末装置に対して前記生産実績情報に基づく生産指示情報を配信すべきときは配信先に応じて配信フォーマットを登録する(S100, S206からS210, S600からS602)ステップを備えると共に、前記ステップeは、前記登録された配信フォーマットに応じて前記配信先に前記生産指示情報を配信させる如く構成したので、同様に、より汎用的な生産工程管理システムを実現することができる。

さらに、h. 前記管理用コンピュータに、前記端末装置の利用に関するセキュ

リティ情報を登録する(S100, S214, S700からS704)ステップを備え、前記ステップeは、前記端末装置の端末コンピュータが起動されるとき、前記登録されたセキュリティ情報から許可されるユーザによって操作された場合に前記端末コンピュータの起動を許可する(S1004, S1006)如く構成したので、セキュリティ性も向上させることができる。

尚、上記において、工場として完成車などの最終製品あるいはエンジンなどの 半製品を生産する工場を例に挙げたが、工場は、最終製品や半製品を構成する部 品を生産する工場であっても良く、あるいは生産せずに部品を加工する工場であ っても良い。

#### 産業上の利用可能性

この発明によれば、管理用コンピュータ(サーバ)に工程などの導入先の工場の構造を階層的に作成すると共に、端末コンピュータと生産に使用されるデバイスを端末装置として登録し、予め作成されてディスクに保管されているタスク群の中から工程のそれぞれで行われるべき作業などを実現するためのタスクを工程ごとに選択して実行すべき順に登録し、端末装置とそれを関連づける定義情報を登録し、端末コンピュータが起動されると、登録された定義情報に基づき、登録されたタスクを管理用コンピュータ上で実行させて生産実績情報を収集させ、それに基づいて製品を生産させるようにしたので、工場建設に際しての生産工程管理システムの開発工数と費用を大幅に低減できると共に、納期も短縮することができる。

#### 請求の範囲

- 1. 工場の生産ラインにおいて、製品の生産を指示すると共に、生産情報を管理する管理用コンピュータと、前記工場の生産ラインに配置される端末コンピュータを介して行われる、工場の生産工程管理システムにおける、工程処理構成の構築・管理方法であって、
- a. 前記管理用コンピュータで、少なくとも前記工場を特定する名称、前記工場で生産される製品あるいは前記工場で行われる作業を特定する名称、前記製品あるいは作業が行われるラインの名称、前記ラインを細分してなる工程のそれぞれの名称からなる前記工場の構造を階層的に作成し、
- b. 前記管理用コンピュータに、前記端末コンピュータと前記生産ラインで前記 生産あるいは作業に使用されるデバイスを端末装置として登録し、
- c. 前記管理用コンピュータに、予め作成されて前記管理用コンピュータのディスクに保管されているタスク群の中から前記工程のそれぞれで行われるべき作業あるいは処理を実現するための1つまたは複数個のタスクを前記工程のそれぞれごとに選択して実行すべき順に登録し、
- d. 前記管理用コンピュータに、前記登録された端末装置と、前記工程のそれぞれで行われるべき作業あるいは処理を関連づける定義情報を登録し、 および
- e. 前記端末装置の端末コンピュータが起動されると、前記登録された定義情報 に基づき、前記登録されたタスクを前記管理用コンピュータに実行させて前 記製品の生産実績情報を収集させ、前記収集させた生産実績情報を蓄積する

ステップからなることを特徴とする工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法。

- 2. 前記ステップeが、
- f. 前記タスクの実行を管理する制御プログラムを起動して次に実行すべきタスクを、前記実行順に登録されたタスクの中から選択してコールさせる、

ステップを備え、よって前記登録されたタスクを前記管理用コンピュータに実行させることを特徴とする請求の範囲第1項記載の工場の生産工程管理システムに

おける工程処理構成の構築・管理方法。

- 3. さらに、
- g. 前記管理用コンピュータに、前記登録された端末装置に対して前記生産実績情報に基づく生産指示情報を配信すべきときは配信先に応じて配信フォーマットを登録する、

ステップを備えると共に、前記ステップ e は、前記登録された配信フォーマットに応じて前記配信先に前記生産指示情報を配信させることを特徴とする請求の範囲第1項または第2項記載の工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法。

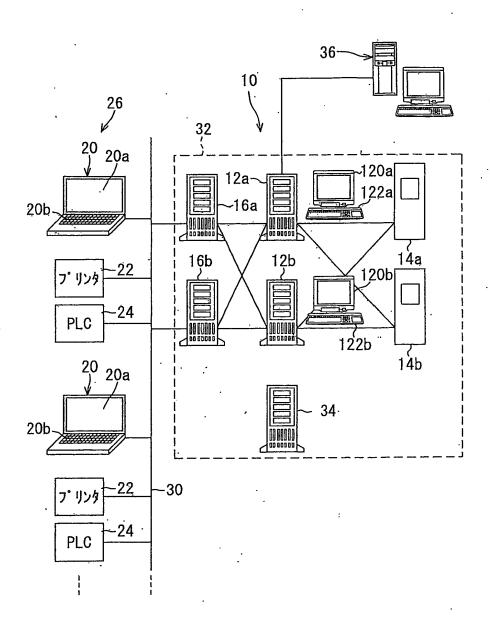
- 4. さらに、
- h. 前記管理用コンピュータに、前記端末装置の利用に関するセキュリティ情報 を登録する、

ステップを備え、前記ステップ e は、前記端末装置の端末コンピュータが起動されるとき、前記登録されたセキュリティ情報から許可されるユーザによって操作された場合に前記端末コンピュータの起動を許可することを特徴とする請求の範囲第1項から第3項のいずれかに記載の工場の生産工程管理システムにおける工程処理構成の構築・管理方法。

#### 要約書

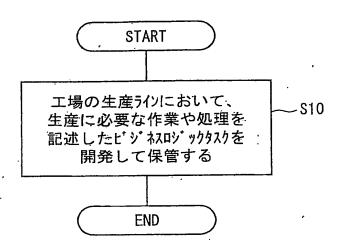
工場の生産工程管理システムにおける、工程処理構成の構築・管理方法において、管理用コンピュータ(サーバ)に工程などの導入先の工場の構造を階層的に作成すると共に(S 2 0 0 )、端末コンピュータと生産に使用されるデバイスを端末装置として定義し(S 2 0 2)、予め作成されてディスクに保管されているタスク群の中から工程のそれぞれで行われるべき作業あるいは処理を実現するためのタスクを工程ごとに選択して実行すべき順に定義し(S 2 0 4 )、端末装置とそれを関連づける定義情報を結びつけ(S 2 1 2 )、端末コンピュータが起動されると、登録された定義情報に基づき、登録されたタスクを管理用コンピュータ(サーバ)上で実行させて生産実績情報を収集させ、収集された実績情報に基づいて生産指示をデバイスに配信し、製品を生産させるようにした。これにより、工場建設に際しての生産工程管理システムの開発工数と費用を大幅に低減できると共に、納期も短縮することができる。

第1図

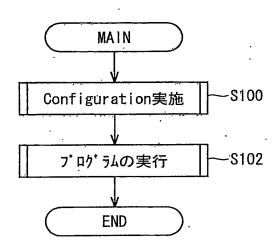


2/16

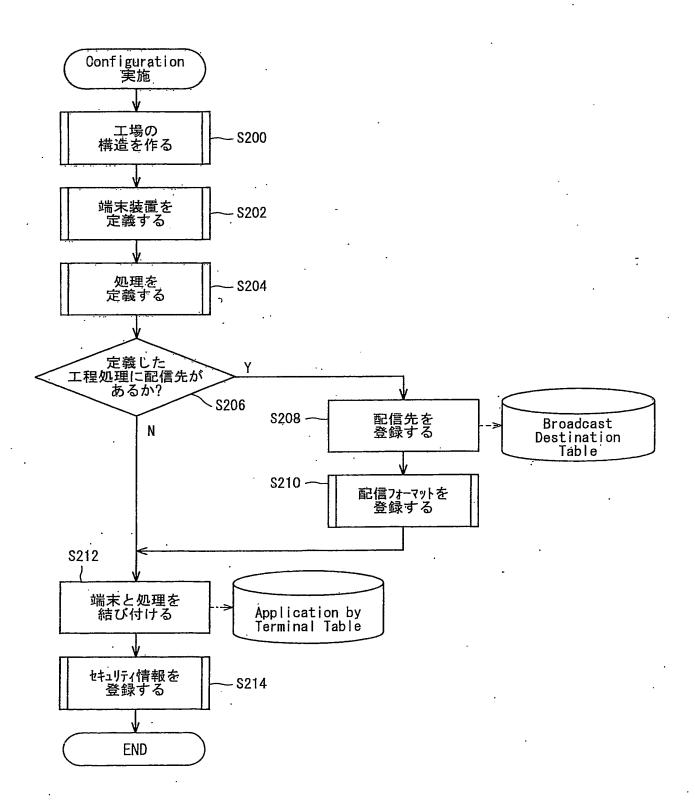
## 第2図



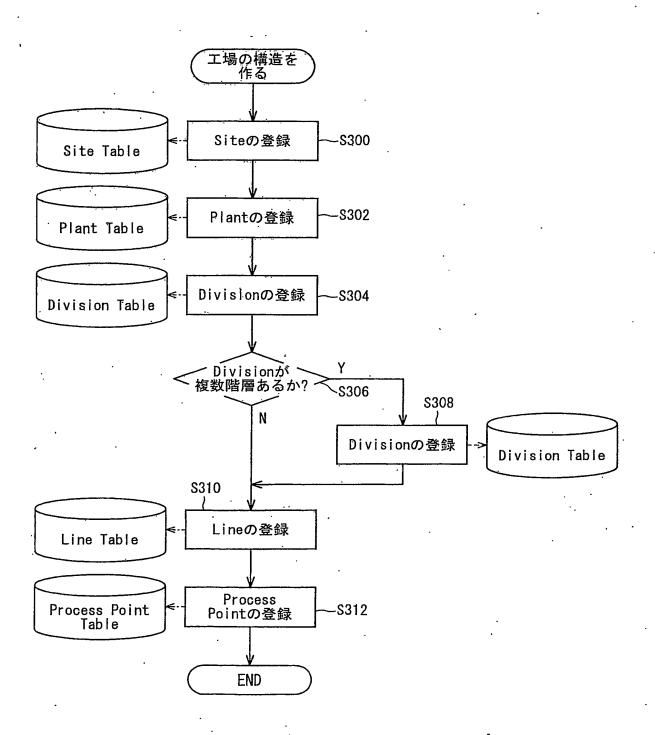
3/16 第3図



第4図

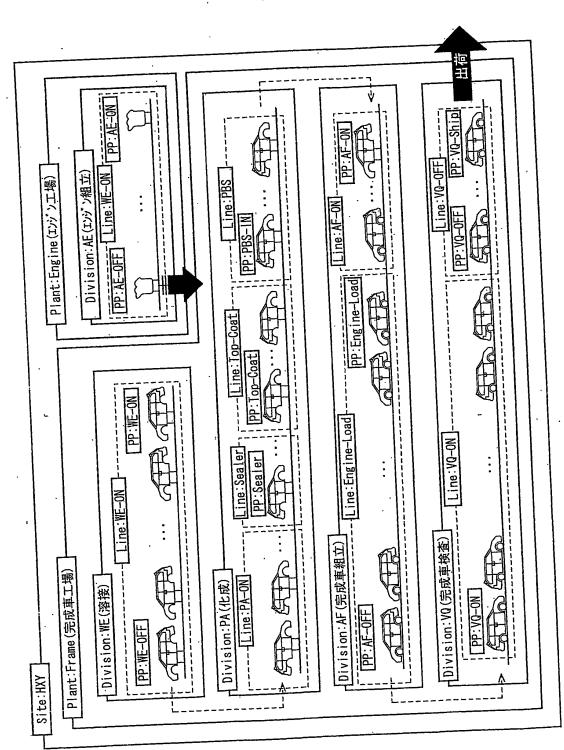


第5図



6/16

第6図



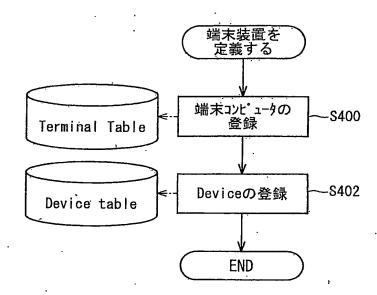
7/16

## 第7図

				·	·	
Table	Site Name	Plant	Div. Name	Line Name	Process Point Name	Process Point ID
Site	HXY	·	•			
Plant	HXY	Frame				
	HXY	Engine				
Division	HXY	Engine	AE			
	HXY	Frame	WE			
	HXY	Frame	PA			
	HXY	Frame	AF			
	HXY	Frame	VQ.	·		
Line	HXY	Engine	ĀĒ	AE-ON		
	HXY.	Frame	WE	WE-ON		
	HXY	Frame	PA	PA-ON		
	HXY	Frame	· PA	Sealer		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	HXY	Frame	PA	Top-Coat		
	HXY	Frame	PA	PBS		
	HXY	Frame	AF	AF-ON		
i l	HXY	Frame	AF	Engine-Load		
	HXY	Frame	VQ	VQ-ON		-
]	HXY	Frame	VQ	VQ-OFF		
Process	HXY	Engine	AE	AE-ON	AE-ON	PP10017
Point	HXY	Engine	. AE´	AE-ON .	AE-OFF.	PP10205
}	· HXY	Frame	,WE	WE-ON	WE-ON	PP10038
]	HXY	Frame	WE	WE-ON	WE-OFF	PP10041
	HXY	Frame	· PA	PA-ON	P'A-ON	PP10042
	HXY	Frame	PA	Sealer	Sealer	PP10043
l j	HXY	Frame	PA	Top-Coat	Top-Coat	PP10045
i i	HXY	Frame	PA	PBS	PBS-IN	PP10138
.	HXY	Frame	PA	PBS	PA-OFF	PP10109
[ ]	HXY	Frame	AF	AF-ON	AF-ON	PP10067
[ . [	HXY	Frame	. AF	Engine-Load	Engine-Load	PP10072
·	HXY	Frame	AF	Engine-Load	AF-OFF	PP10088
1	HXY	Frame	VQ	VQ-ON	VQ-ON	PP10089
	HXY	Frame	V.Q	VQ-0FF	VQ-0FF	PP10090
	HXY	Frame	VQ	VQ-0FF	VQ-Ship	PP10096

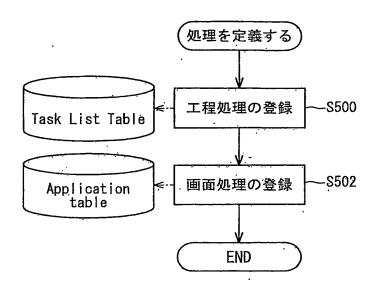
8/16

## 第8図



9/16

第9図



## 10/16

## 第10図

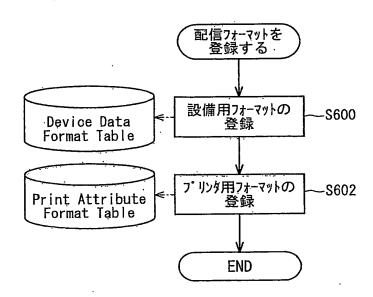
Applica- tion ID	Seq.	Task Name	Applica- tion ID	Seq.	Task Name
PP10017	_1	AE0n	PP10072	1	ScanVIN
PP10205	1	QiosAERepairTask	PP10072	2	EngineLoad
PP10038	1	WEOn	PP10072	3	Broadcast
PP10038	2.	Broadcast	PP10088	1.	ScanVIN
PP10041	1	Tracking	PP10088	2	CheckAF0nSequence
PP10042	1	BindVINvsSmartEyeTask	PP10088	3	CheckDuplicateVIN
PP10042	2	Tracking	PP10088	4	AFOff
PP10043	Ì	PaintPoint	PP10089	1	Vq0n
PP10043	2	Tracking	PP10090	1	QicsVQTask
PP10045	1	PaintPoint	PP10096	1	ScanVIN
PP10045	2	Tracking	PP10096	2	CheckDuplicateVIN
PP10045	3	CountNoOfBakesTask	PP10096	<u>.</u> 3	Vq0ff ·
PP10138	1	PointAout	PP10096	4	Tracking
PP10138	2	Tracking			
PP10109	1	PointEout			
PP10109	2	Tracking			
PP10067	1	ScanVIN			
PP10067	2 .	CheckDuplicateVIN			
PP10067	3	Tracking			
PP10067	· 4	AddVINToAFONSequence			
PP10067	5	CaicLotPassTask			
PP10067	6	SetFactoryfNewsTask			
PP10067	7	BonnetSheetPrint			
PP10067	8	BonnetSheetPrint2			
PP10067	9	Broadcast			

11/16

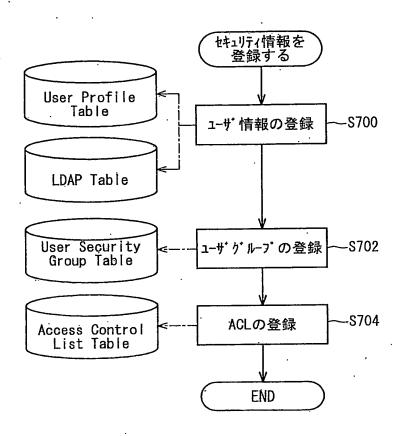
第11図

							Process Point	s Point				•		
AEOn	AE-ON	AE-0FF	WE-ON	WE-OFF	PA-ON	Sealer	PBS-IN PA-0FF	PA-OFF	AF-0N	E-Load AF-0FF	AF-OFF	NO-0V	VQ-OFF VQ-Ship	/Q-Ship
1T	Θ													
UlcsAEKepairlasK		Θ											l	
WEOn			Θ											
BindVINvsSmartEyeTask					⊖									
PaintPoint						Θ								
PointAOut							Θ							
PointEOut								Θ						
ScanVIN									⊖	Θ	Θ			Θ
EngineLoad				,						(Q)				
CheckAFOnSequence											0			
CheckDuplicateVIN									(0)		0			0
AF0ff											<b>(4)</b>			,
Vq0n												Θ		
0 i cs VQT ask													⊖	
VqOff														<u>@</u>
Tracking				0	(Q)	0	(0)	0	(C)					9
AddVINToAFONSEquence									⊕					
CalcLotPassTask									<b>©</b>					
SetFactoryfNewsTask					·			,	9					
BonnetSheetPrint2									0					
BonnetSheetPrint2			-						@					,
CountNoOfBakesTask						@								
Broadcast									<u></u>	<b>©</b>				

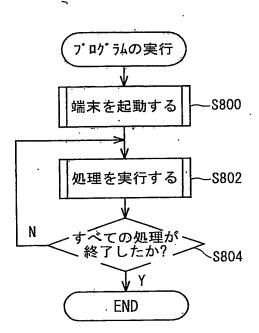
12/16 第12図



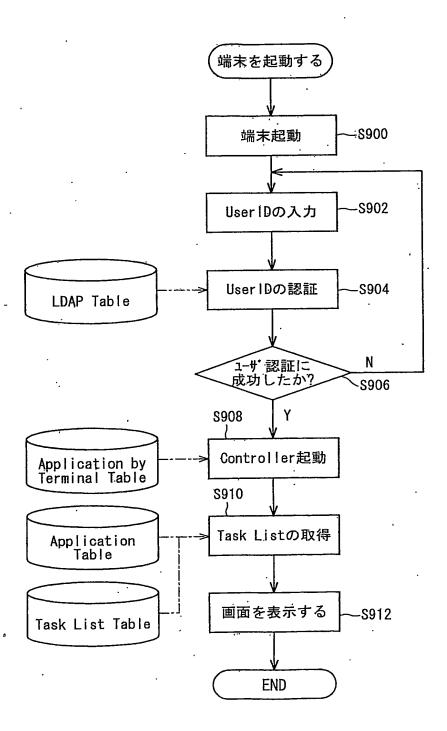
13/16 第13図



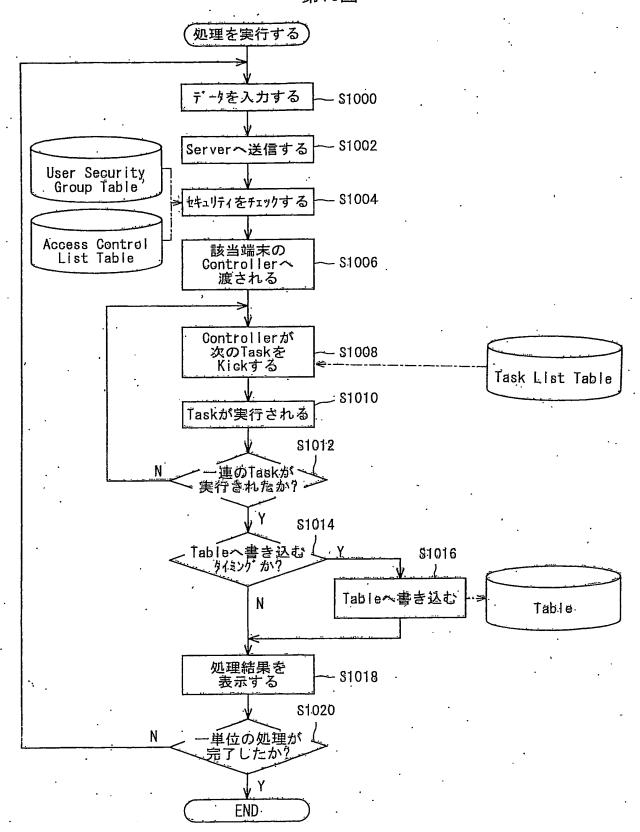
14/16 第14図



15/16 第15図



第16図



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

#### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

efects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.